



# はちのす

木戸小学校学校だより  
令和5年6月22日  
No.273  
在籍児童数393名  
令和5年5月1日現在

## 再開というよりも新しい出発です！～全校朝会開催～

校長 貝沼 浩晃

6月5日に全校朝会を実施しました。体育館に全校児童が集まって朝会を行うのは久しぶりです。全校朝会はコロナ禍以前には、「普通に」行われていましたが、3年間実施していないので、1～3年生は経験がありません。職員も木戸小学校の全校朝会が初めての者が多いです。

そのために、しっかりとした準備が必要でした。事前に並び方や段取りを打ち合せしました。当日に体育館には運動会のように目印となる玉入れの玉を置いています。担任が教室から体育館まで引率をすることとしました。

このように、久しぶりに実施するためには、数々の準備が必要になります。運動会のときに並んでいるから簡単なことだろうとお考えになるかもしれませんが、約400人の児童が動くというのは大変なことなのです。

当日は順調に移動ができて、全校みんなでき、まさしく全校朝会を実施できました。6年生が静かに移動して整列をして、さすがだなあと感心しました。下学年の児童は、このような姿を見ることも大事だなと思いました。

今後、本格的な水泳が始まり、ふれあいスクール「木戸っ子ゆめ広場」も開始します。様々なことが動き出しますが、再開というよりも新しい出発のつもりで進めていきましょう。

### <木戸小誕生ものがたり②>

薄田中庸校長先生の下でスタートした木戸小学校でしたが、始まってからも大変でした。この頃、学校を運営していくにはたくさんのお金が必要でした。そのお金は、学校に通うご家庭や地域の皆さんが負担しなければなりません。そのために、学校を始めただけでも、続けられない学校もあったそうです。それでも木戸の地域の皆さんは、学校が大事だからと一生懸命に守りました。

その後、古町で大きな火事が続きました。（初代萬代橋も焼け落ちました。）木戸の地域は火事の被害はありませんでしたが、親戚や知人が被害にあったでしょうし、仕事も失われたことでしょう。その頃の人々の生活はとても大変だったと予想されます。そのような状況でも、木戸の地域の皆さんは学校を守ってくれたのです。学校を大事にしてくれたのですね。

そのためでしょうか、その後に、木戸には多くの学校が設立されました。県立新潟農業専修学校、新潟師範学校の農業実習地開設、青年学校等です。様々な学校ができましたが、その中心にあったのは木戸小学校でした。



もし、昔の方に「木戸小学校で勉強しています」と言ったら、「それはいいところで勉強しているね」と言われるかもしれませんね。

（写真：6月9日に3年生は真壁様に木戸の歴史を教えてくださいました。ありがとうございました。）

# 令和5年度 150周年記念運動会

5月20日（土）に開催した運動会では、多くの保護者の皆様から子どもたちにご声援をいただきました。今年度は、コロナ禍も収まり、全校で一同に集まり開催しました。また、創立150周年をお祝いするための企画も盛り込みました。子どもたちの活躍が光る、素晴らしい運動会となりました。まさに「150周年！ベストを尽くして限界突破」のスローガンの通り、競技や応援に、精一杯取り組んだ子どもたちでした。温かい応援を、ありがとうございました。



## 応援リーダー長の感想

### 「頑張った運動会」

赤組応援リーダー長 内山 陽南子

私は、運動会をふり返って一番頑張っていたと思うのは、50m走や、団体競技中の応援だと思います。応援リーダーのみなさんは音楽に負けない声で応援を頑張っていたので、運動会が上手くいったのではないかと思います。

次に頑張っていたと思うのは、声かけです。全学年に指示をする時、大きな声で指示をすることができたと思います。

これらのことから運動会が上手くいったのは、応援リーダーの頑張りがあってこそこの楽しい運動会だったのではないかと思います。

### 「限界突破」

白組応援リーダー長 神林 渉

今年の運動会は、小学校最後の運動会なので、絶対応援リーダーになろうと思っていました。それでも、最初の方は遊ばなくていやだという気持ちがありましたが、練習をしているうちにだんだん楽しくなってきました。そして、このメンバーで最後までやり切りたいという気持ちが強くなっていきました。迎えた本番は、とても緊張して、余計なことばかり頭に浮かんできました。声もなかなか出なかったけど、限界を突破し、最後までやり切れたと思います。